

## 10 発表のまとめをする。

発表終了後、自己評価と相互評価を行いました。

図8のように、3つの点から自己評価を行い、自分の活動を振り返りました。また、図9のように、コメントを含めた4つの点から相互評価を行い、友人の発表をお互いに評価し合いました。

発表者は、自己評価と相互評価によって、自分の活動を振り返り、自分のよさや課題に気づくことができました。さらに、教師から課題解決に向けた具体的な助言をもらうことによって、今後の学習への目標を持ち、意欲化が図られました。

また、相互評価を繰り返していくことによって、聞き手の中に他者のよさを自分の発表に生かしていくという意識が生まれ、回を重ねるごとに発表が充実していきました。

### Show and Tell 《自己評価用紙》

3年( )組 氏名( )

1 発表前の学習について

(1) 発表の構想を練ることができた。 (A) B - C - D  
(イメーザマップや企画書の作成)

(2) 原稿を作成することができた。 A - (B) - C - D  
(日本語・英語の原稿作成)

(3) 発表に向けて練習に取り組むことができた。 (A) B - C - D

A:よくできた B:できた C:ややできなかった D:できなかった

2 発表について

(1) 大きな声で言うことができた。 (A) B - C - D

(2) はっきりとした発音で言うことができた。 A - (B) - C - D

(3) 原稿を見ないで言うことができた。 A - (B) - C - D

(4) ジェスチャーや表情を考えていうことができた。 A - (B) - C - D


(5) 友達を見て言うことができた。 A - (B) - C - D

(6) あわてず落ち着いていうことができた。 (A) B - C - D

(7) 先生や友達の質問に答えることができた。 A - (B) - C - D

A:よくできた B:できた C:ややできなかった D:できなかった

3 活動全体を通じて 0 25 50 75 100(%)

(1) あなたの満足度は  97%!!

(2) よかったこと  
 しっかり前を見て、暗記もでき下で良かった。  
 英語を話すことにより興味を持った、楽しかった。

(3) これからの学習で努力したいこと  
 質問のうけ答えをもっとできるように。  
 内容がしっかり/伝わりやすい発音を。

【図8 自己評価】

### Show and Tell 《相互評価用紙》

From \_\_\_\_\_

To \_\_\_\_\_

【内容について】

(1) 言いたいことがよくわかった イ. おもしろかった

(2) 絵や写真などが効果的だった エ. 話の展開(流れ)が適切だった

オ. その他

ピア1が聞きやすかった。

【態度について】

(1) 堂々としていた イ. 落ち着いていた

(2) 表情がよかった エ. 聞き手を見ながら発表した

(3) ジェスチャーがあつてよかった

カ. その他

すごく堂々としていて、がんばっていた。

【声について】

(1) よく聞こえた イ. きれいな声だった

(2) 大きな声だった エ. 感情がこもっていた

オ. かわいい声だった

カ. その他

はっきりしていて、すごくよかった。

【発音について】

ア. 流れるように発音した イ. 正確な発音だった

ウ. 丁寧に発音した (3) 堂々と発音した

オ. 強弱がはっきりしていた

カ. その他

発音がきれいだった。

【その他】

途中質問したり、工夫していた。

【図9 相互評価】

#### 《自己評価させる上での視点》

1・2では、発表までのそれぞれの活動と発表の状況について振り返らせました。

3では、発表後の満足度を数値評価させ、最後に文章により各自のよさを理解させるとともに今後の学習への課題を持たせました。

#### 《相互評価させる上での視点》

たとえば、「声の大きさ」を数値で評価すると、日頃声が小さく目立たない生徒が一生懸命がんばっても評価が低くなる可能性があるため、生徒一人一人のよさや努力の結果がうまく反映されるように、評価項目の選択と短いコメントによる評価としました。